



大腸内視鏡検査を受けられる患者様へ

(院内用) B

(肛門から内視鏡を挿入して大腸を観察する検査です)

※この用紙は検査当日に必ず持参してください。

検査前日へ月日	食事	食事はできますが、消化の良いものを少なめに食べて下さい。いつもより水分補給を多めにして下さい。 ※海藻類(わかめ・ひじきなど)、きのこ類、タネのある果物、こんにやく、野菜は食べないで下さい。 夜9時以降は食べないで下さい。			
	下剤	夕方(18時)		夜(21時)	
		ピコルファート Na1 本(液体)をコップ2杯の水に混ぜて一緒に飲みます。	センノシド 2錠をコップ1杯の水で飲みます。	下剤のため夜間お腹がゴロゴロしたり、腹痛をきたすことがあります。	
常用薬	いつも飲んでいる薬は飲んでください。 ※血液の流れを良くする薬(バファリン・バイアスピリン・ワーファリン・パナルジンなど)を飲まれている方は検査説明時にお知らせください。中止が必要と言われた場合は医師の指示に従ってください。				

検査当日へ月日曜日	食事	検査終了までは食事はできません。水分補給を十分にしましょう。 (砂糖入りの紅茶・スポーツドリンク・お茶など。)			
	常用薬	血圧や心臓の薬は、早朝(6時ごろ)服用しましょう。 ただし、糖尿病の薬は飲まないでください。 現在服用中の薬の説明書やお薬手帳を必ずお持ちください。			
	検査時間	月 日 曜日 時 分頃	来院して下さい 月 日 曜日 時 分頃の検査予定です。 ※緊急検査などにより検査が遅れる場合があります。検査予定時刻を30分以上過ぎている場合は内視鏡32番へお声をおかけください。ご理解とご協力をお願いします。 ※ご高齢の方は、下着・ズボンなど汚されることもありますので、着替えをお持ち頂くとよろしいかと思います。		
	前処置	検査着に着替え、腸管洗浄剤を2時間くらいかけて飲みます。 便が尿のような色(黄色水様便)になったら検査の準備完了です。(必要に応じて浣腸などの追加処置を行う場合があります)			
	検査	検査の順番は便の出具合や検査内容などを見て総合的に判断します。検査にかかる時間は、腸の長さ・走行などにより異なりますが30分前後です。必要に応じて組織検査を行います。 内視鏡の挿入が難しい場合や、必要に応じて大腸X線検査を追加することがあります。 ※当院では鎮静剤(静脈麻酔)は原則として使用しておりません。 ※ポリープ切除は外来では行っていません。2泊3日の入院が必要です。			
検査後の注意	お腹の張った感じがある場合、排ガスと共に消失してきます。便に血液が混じる事がありますが、少量であれば心配はいりません。しかし、 大量の出血や激しい痛みなどがある場合はすぐに連絡をしてください。 食事は普通どおりに出来ます。水分をいつもより多めにとりましょう。 検査を受け体力を消耗しています。家に帰ってゆっくり休養をとりましょう。 組織検査をされた方は、出血予防のために ①アルコール類は飲まないで下さい。 ②激しい運動は控えて下さい。 ③長時間の入浴は避けてください。				

検査費用のめやす

※わからないことや心配なことがありましたら、医師や看護師に遠慮なくご相談下さい。

(問い合わせのお電話は月～金の14時～17時までをお願いします。)

大腸内視鏡検査	1割負担	3割負担
組織検査なし	2500円	7500円
組織検査あり	4000円	12000円
大腸X線検査追加	1700円	5100円

宗像医師会病院 TEL 0940-37-1188

説明者	
-----	--